

品川製作所紛議の真相を明かにして

全労働者諸君の批判に想ふ!!!

一、紛議發生の遠因

我々の品川製作所は、以前に組合を組織し、労働同盟に所属して来たのであるが、品川製作所が漸次労働者の要求する要求となるや、其の階級闘争の専横を露とせず、光輝ある労働同盟の歴史を繼承すべく、正統派の組織となり、相手を殺した正統派の救済を承知して、遂に敢然として労働同盟を脱退して日本労働組合同盟を組織するに至つた。労働同盟第一次の大分裂これである。

當時、我等は正統派と行を共にせんとしたが、労働同盟幹部と野合一脈の相違する部を労働同盟に加入せしめ、先頭に立てるもの數名の組合除名一掃を期して、防壁に努めた。然しながら、品川製作所は遂に正統派の狂行にも拘はらず、遂に昭和二年八月、職員一致の決定により、労働同盟を交ぜしむると同時に、組合同盟加入を決定した。品川製作所は組合同盟の方針の下に工場に於て平穩に作業すると共に、労働同盟の発展の爲めに協力して来たのである。

二、紛議發生の近因

然るに労働同盟と私的に深まりつゝあつた彼等一味は、品川製作所を労働同盟の幹部に押し付けんと努めて来た。取つて昨冬の日大労働同盟臨時幹部會席上、於て品川製作所を提唱して品川製作所を買収した事案もある。

労働同盟の幹部の意を受けて、我等を彼等の囑託として梅げんと梅を叩き、あつた彼等は品川製作所を巧みに押へて彼等の野望を充たさうとした。労働同盟は大體を中心として、職別組合員約七千名の脱退を見、松岡君の牙城東部同盟に於ても内部的離叛があり、秋風落葉たるものもあつたので、何とかして品川製作所を返すべく狂行しつゝあつた所へもつて来て、小林君の事件がモチ上つたのである。彼等がこれを連がさす捕へやうとしたのは彼等のやりさう手ではある。

松岡君の事件とは何か、既に數次の説明書にも明かなるが如く小林君が品川製作所として二年間の花柳中の幹部の約一千四百名を品川製作所に一時引渡さうと提議した事案である。支部委員の地位によつて會計に選挙せられたものが、其の地位を更切つて支部の金を遊樂費とするが如きは決して良いことではない。さればこそ、警察に拘捕せられ取り調べを受けたのである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。梅げんと梅を叩く苦痛は本人に對して充分に懲罰の目的を達したものである。

三、紛議發生の端緒

本年十二月、西谷君一派は一人の労働同盟組合員を品川製作所に、品川製作所の原虎一、徳永正報の両君並に労働同盟の三十名を工場内に引き入れ、労働同盟の一言の通告もせず、未だ事件の真相に通じざる従員に對し、労働同盟を解散するから集まれと號して半強制的に一同を洗滌的に集め、八口の戸を閉ざし、ウチヤナの中に西谷君を取り縛り、その西谷君を其の労働同盟加入の

端緒として、工場手前には労働同盟を承認せしむべく強要したのである。然して今更で平靜であつた工場内は俄に怒涛のやうな渦巻を起し、各派は混亂に陥つたのである。事ここに至つては、如何に同僚の情義を重んずる我等と雖も、決して愚昧を懐くと思ひを以て西谷君等五名を組合の統制委員の理由をもつて除名せざるを得なかつたのである。

労働者諸君、自己の所属せる組合を無視して他組合の幹部を臨時に引き入れて組合を取りの横波しをするスウ／＼しに對し、組合がこれを除名することの間違いであると思ひ得るものがあるであらうか。然ん其除名が労働者を労働同盟の下に資本家に賣渡さんとする當罰犯の總同盟であるに於ておや、我が支部から除名された西谷君等五名は、何等の理由によつて十三日夜一場から解雇されたのである。此の規定は西谷君等自ら制定したものである。十四日午後六時、工場の大場時は七時中である。労働同盟の中心は近所の労働同盟である。労働同盟の署名で工場従業員の意志に反して職名を改ざしそれがために松岡君は職名を改ざつたのである。蓋し、これは労働同盟の去る十二日の如く洗面所を占領して我意を張らなうためであらう。少くとも、我等はまさか彼等が計画的に人を傷害すべく強行して来たものとは信じてないが、我等は労働同盟の不當なる工場占領を聞き、且善良なる労働者諸君を労働同盟の魔手から解放せんがために、彼等の強行に先づつて工場内に入つて来た關係に對して彼等との間に口論を生じむの爲め、労働同盟の決議を、兩名共に十名位の労働者を出すに至つたのである。(それは目下双方から三名宛の被告人を出して裁判所において審理中である。)

四、不都合極まる彼等の要求

労働同盟に對し、松岡君は口を拭つて知らぬ顔つきをきめ込んで来たが、彼等は強行した労働同盟に例のサイドアップで乗らうと企てた。労働同盟の差遣をして来たことは明かである。蓋し、彼等は日本大企業家や組合同盟を共産黨と呼びやりをして資本家品川製作所や労働同盟幹部等々に、労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。それを労働同盟に對して提議した事は、労働同盟の事件ではないか。

五、結語

我等は總同盟の諸君が今日の帝國主義段階の下に總同盟の運動方針が理論的に實踐的に妥當であると云ふ確信を有するならばそれを承らう。我等は今日の客觀的情勢の下に於ては、總同盟の協同的御用的運動方針は斷じて労働者解放への道てないと思ふ。若し彼等が階級理論をもち、現實の認識把握をもつてくるならば、我等は喜んで快く應酬するであらう、ことを附加しておく。

裏面一覽ありたし